

一九七六年に分離独立を綱領に掲げるケベック党政権が誕生したケベック州では、英語だけを話す人口が大幅に減り、フランス語のみを話す人口がわずかに増えるという現象を見た。しかし、両公用語を話す人は二四パーセントも増え、ここでも両語使用の傾向が高まった。

また英語を「母国語」だと答えた人は約千五百万人（一九七六年から五・六パーセント増）、フランス語と答えた人は約六百二十五万人（六・一パーセント増）だった。五年間で特に増えたのはスペイン語（五九パーセント増）、アルメニア語（六五・八パーセント増）、中国語（六五・八パーセント増）、インド・パキスタン語（一〇〇・三パーセント増）など。人口を宗派別に見ると、最も多いのがカトリックで、全人口の四七・三パーセント。プロテスタントが四一・二パーセントで、両者を合わせると八八・五パーセントになる。あとは東方正教会（一・五パーセント）、ユダヤ教（一・二パーセント）など。人口の七パーセント弱は国勢調査の「宗教欄」に何の記入もせず、約一萬五千人が不可知論者または無神論者と答えた。

カトリック教徒が大半を占めるのはケベック州（州人口の八八・二パーセント）とニュー・ブランズウィック州（五三・九パーセント）。あとの八州は、プロテスタントが多い。

またアジアからの移住者が増えた結果、仏教徒は十年間で二二三パーセントも増え（増加率では最大）、約五万二千人に

達した。

カナダは移民の国といわれるが、今度の国勢調査でも総人口の約一二パーセント（三百八十六万七千六百八十人）は外国生まれとなっている。そのうち最も多いのはヨーロッパ出身（二百五十八万六千八百八十人）だが、その数は十年前と比べて若干減少した。一方、東南アジア生まれは十年前のわずかに二万六千二百五十人から十五万二千五百九十人へと激増。その他のアジア各国から移住してきた人も、十四万人弱から三十九万人に増えた。

家計収入（平均）は、七〇年から八〇年の十年間で二八・四七パーセント上昇し、二万六千七百四十八ドルに達した。最も多いのは二万五千ドル以上三万ドル未満の層で、八十万五百四十家族がその中に入っている。（十年前に最も多かったのは、一万七千ドル以上二万ドル未満だった。）また平均所得が四万五千ドル以上の家族は、七十一万七千九百五十五と、十年前の三倍近くも増えた。

国勢調査では、そのほか、①世帯数が一九七六年から五年間に百一十一万五千四百三十五も増えて八百二十八万五千三百三十一となり、また六人以上の大世帯の数が大幅に減って四人以下の小世帯が増えた②片親だけの家族は五年間に約二八パーセント増加した（全家族に占める割合は一・三パーセント）③家族数は五百七十三万から六百三十二万に増えた④既婚者は約九パーセント増え、また離婚者は六五パーセント増の五十万人に達したなどを明らかにしている。

平均的カナダ人とはどんな人たちか。バンクーバーの新聞「プロビンス」が統計局や国税庁、保険会社や銀行の資料から合成したカナダの平均的家庭とは、夫婦に子供二人の四人家族。夫は三十六才で、妻は三十二才。夫の年収は二万八千ドル。妻の時給は十四ドル三十三セントで、年収二万二千ドル。夫婦の手取りの合計は、平均すると約四万ドルだ。

郊外に八年前に建てられた三居室の家を一年前に十萬ドルで購入。頭金一萬ドルで、九萬ドルは借金。その支払いが月々千四百八十ドル。十萬ドルの家にかかる固定資産税は千百ドル。しかし持ち家に住んでいると助成金があるので、支払う税金は正味七百二十ドル。昨年家を買った時は金利が一八・五パーセントと高かったため、一二パーセントの借入れに切替え、月々の支払いを千ドル程度に下げたいところだが、そうすると四千四百五十ドルの反則金が痛い。

この平均的家族が買う食料品は、月に四百ドル。しかし子供とマクドナルドやケンタッキーフライドチキンに行ったり、ピーナツやポテトチップをつまみながらビールを飲むと、食費も月五百ドルにはね上がる。ビールやワイン代の四十ドルは別。この家庭の電気・ガス代は、一か月百二十八ドル（BC州の電気代は東部に比べて格安）。

カナダの平均的家庭

マイカーは二台。七六年度の大型ステーション・ワゴンと八〇年度の日本製小型車。この二台にかかるガソリン代と修理費が、月百十五ドル。自動車保険は無事故の三五パーセント割引き込みで、古い大型車が年二百三十ドル。新しい小型車は年六百十ドル。

住居にかける火災保険の保険料は、年二百五十ドル。そのほかに住宅ローンを借りているために払わなければならない保険料が、月間三十五ドル、年間で四百二十ドル。生命保険は掛け捨てで、保険額は夫が十萬ドル、妻が二万五千ドルの保険金。保険料は合わせて年に四百ドル。

月に三千三百ドルの手取り収入で、支出は三千ドル。三百ドルを貯金にあてて、セントラル・ヒーティングの故障や屋根の修理など不時の出費に備える。

怪我や病気をしても、医療費を心配する必要がないのはカナダのありがたいところ。B・C州では健康保険に一人月十五ドル。家族なら三十二ドル払えば、診療所の診察でも、心臓の手術でも、医者費用は一切払ってもらえる。入院しても、外国人は一日につき六百九十八ドルも支払わなければならないが、カナダ人や移住者は一日わずか七ドル五十セントですむ。個室でも三十五・四十五ドルだ。（SS&S発行「カナダレター」Vol.9, No.3より転載）。